

Interview

楽団員インタビュー Vol.56

素晴らしい環境で 演奏できる毎日に感謝

フルート&ピッコロ 小松崎 恭子

Kyoko Komatsuzaki, Flute & Piccolo



◆楽器を始めたきっかけは？

4歳からピアノを始め、小学校では合唱団にも所属し、元々音楽が大好きでした。中学校では吹奏楽部に入部。トランペットか打楽器をやりたいかったのですがどちらもジャンケンで負け、たまたま希望者のいなかったフルート担当になりました。

◆オーケストラプレイヤーを目指したきっかけは？

中学校までは吹奏楽しか知らなかったのですが、進学した都立高校（普通科）にはオーケストラ部があり、弦楽器と音を重ねる楽しさや、フルートの作品だけでは出会えない作曲家の作品に触れることのできる喜びなど、その魅力にすっかりはまりました。作曲家が魂を込めて書いた音を何十年、何百年の時を越えて今演奏していることを思うといつも胸が熱くなります。たとえ目立たない役割であってもオーケストラの響きの中にいられることが幸せて、高校時代から将来はオーケストラプレイヤーになりたいという漠然とした夢がありました。これまで師事した3人の先生がいずれもオーケストラプレイヤーの方で、よく演奏会にも足を運んでいました。

◆好きな作曲家・曲は？

選ぶのは難しいですが、やはりモーツァルトでしょうか。交響曲やフルートの作品はもちろんのこと、最近は弦楽器とのアンサンブルでオペラ作品を演奏する機会もあり、シンプルな中の究極の美しさに改めて魅了されています。モーツァルトを演奏する時の幸福感は何か特別なものを感じます。

◆フルート/ピッコロの魅力は何ですか？

息がダイレクトに音になり、歌うように吹けるところ。軽やかでキラキラした高音も温かく深い低音も好きです。

ピッコロは、オーケストラ全体の響きに輝きを添えられるところや、時には金管楽器や打楽器をも凌駕する存在感を発揮できることも魅力です。あとは持ち運びが楽です。

◆好きなフルート/ピッコロ奏者は？

たくさんいますね…

中でもエマニュエル・パユさんはものすごく繊細な表現から宇宙を感じさせるスケールの大きい演奏まで、ソリストとしてもオーケストラプレイヤーとしても表現の幅が広く本当に多彩で、聴くたびに驚きと感動を覚えます。

◆使用している楽器について教えてください。

フルート：ムラマツ SR 銀の音色が好きです。

ピッコロ：パウエル ハンドメイド グラナディア14Kキィ 小さいけれど頼れる相棒。

◆山形でお気に入りのもの、場所はありますか？

美味しいお米、蕎麦、山菜、果物、日本酒…山形は食の宝庫でいつも食べることはばかり考えています。近所の方がお茶請けに出してくださった自家製のお漬物がありにも美味しくて感激し、それまで苦手だった漬物にも目醒めました。

自然豊かな田園風景を眺めるのが好きで、リフレッシュしたい時には大蔵や榎平の棚田によく出かけます。

◆趣味や特技はありますか？

それがないのです…人に自慢できることがあるとすれば、非常に健康体で頑丈なこと。（両親に感謝）

◆最後に、お客様へのメッセージをお願いします。

入団から10年、素晴らしい環境の中、温かいお客様に見守られながら演奏できる毎日に感謝の気持ちで一杯です。来年度も魅力的なプログラムがたくさん！これからも音楽を通して心潤う時間を過ごしていただけるよう精進を重ねていきたいと思います。